



福岡県小郡市大板井1143-1

電話番号 0942-72-7221

FAX 0942-72-7222

そら

発行人

こぐま福祉会「そら」編集委員会

<http://www.koguma.ed.jp>

子どものオアシス 『子どもの家』

『子どもの家』では、主に療育や訓練にきているお友だちのきょうだい児と職員の子ども達のお預かり、また小郡市より委託を受け、病児・病後児保育をしています。

初めは、お母さんと離れる時に泣きますが、登園回数を重ねるうちに少しずつ慣れ、泣かなくなります。そして、抱っこやおんぶから降りてオモチャで遊ぶ姿やお友だちと一緒に遊ぶ姿、時にはイタズラ(?)をする姿も見せてくれるようになります。子どもの成長する姿に驚かされます。

今年度は、〇歳、一歳の子どもたちが多いのですが、その子たちが今では、ハイハイしたり、トコトコと歩き出し、動く事を楽しんでる姿が見られます。

子ども達は、手あそびや体操、制作や感触遊び、天気が良い日には、こぐまの畑やどんぐりの木までの散歩等楽しく過ごし、保護者のお迎えを待っています。そして、家に帰ってから、覚えた歌や手あそびを披露しているようで、このようなお話を聞かせてもらうと、とても心が和みます。

これからも、子ども達のキラキラとした笑顔がたくさん見られるように、そしてお母さん達が安心して「行ってきます」と療育に行けるような『子どもの家』で在りたいと思っています。

(保育士 伊東)

心の窓



外来

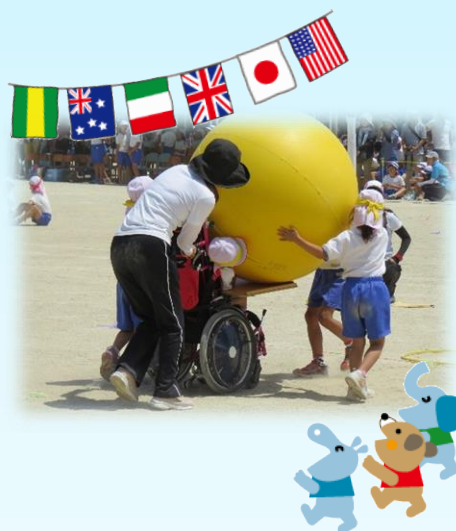
登山 綾美さん



綾美は四五二gの手の平サイズの小さな小さな赤ちゃんでした。出産予定日の四ヶ月前、常位胎盤早期剥離のため緊急出産。重症仮死状態で誕生しました。世の中はちょうどクリスマス商戦が始まった頃で街中がキラキラしていました。そんな日常から一転、今にも消えてしまいそうな命に怯えながらNICUに通う毎日。命の危機、失明の危機、多くの困難を乗り越えながら、新年を迎え、桜の季節が過ぎ、さつきが満開の五月にやっと自宅に帰ってくることができました。上に五歳離れた兄がいるのですが、その経験は全く通用しない育児でした。

こぐま学園に通い出したのは一歳九ヶ月。リハビリ自体は別の施設に一歳前から通っていたのですが、二歳前に集団療育をという思いが強くなり、お友達からこぐま学園のことを教えてもらったことがきっかけでした。

脳性麻痺、精神発達遅滞、加えて弱視。通い始めたころは、一人で座れない、歩けない、しゃべれない、よく見



えない、の「できない」ことばかり。過敏もひどく母である私と手をつなぐことすら嫌がっていました。でも色々な経験をさせていただき、全身で「楽しい！」をたくさん知った場所になりました。

現在は、地域の小学校へ通っています。今も全介助で言葉での会話はできませんが、たくさんのお友達に囲まれ学校生活はとても楽しいようです。車椅子と並んで歩くと手をつないでくれるようにもなりました。そして、二年生になった今、突然、こぐまの保育で毎唱歌っていたお集まりの歌「手をつなごう、みんなの手をつなごう」と歌い出したのです。こぐまに三年半通った出来事は、彼女の中にちゃんと蓄積されていたんだ、ちゃんと記憶していたんだとても嬉しい驚きでした。学校は大好きだけど宿題は大嫌い、そんなおてんば娘に成長しました。これからいろいろなことに家族で挑戦していきます！

(登山綾美の母)

こぐまLINE



作業療法士

甲斐 聡美

こんにちは。医療支援部に所属している作業療法士の甲斐聡美です。

私はこぐま福祉会に就職するまで、大分県の実家で暮らしていました。物心ついた頃から漠然と保育士になりたいと思っていましたが、高校時代に恩師の勧めで作業療法士の道を選びました。ただ、作業療法士であつても、子どもたちと関わりながら仕事をしたいと思っていました。

縁があり、こぐま福祉会に就職することができましたが、慣れない土地で社会人生活の第一歩をスタートさせたこともあり、当初は不安な日々を送りました。

大分にいるときは「一人暮らしをしたい」「県外で生活してみたい」と思っていました。親元を離れて自分一人で生活してみても両親の存在の大きさだけでなく、約二十年の思い出が詰まった大分は私にとって大切な場所だということも改めて実感すること

ができました。大分で待っていてくれる友達や家族がいることは私の財産だと思っています。しかし、大分に帰省中、「福岡に」早く戻ってきて」と言ってくれる友人や同僚が福岡にできたことは大変嬉しく、新しい財産になったと思っています。

さらに、職場では多くの子どもたちの笑顔が私に大きな勇気と力を与えてくれます。職場のスタッフの皆さんと一緒に、この勇気と力を少しでも子どもたちのために役立て、恩返しをしたいと思っています。

今年も十二月を迎え、二〇一四年も残りわずかとなりました。一年を振り返ると、こぐま福祉会での楽しかったことや、反省すべきこと等があれこれと浮かびます。二〇一五年はヒツジ年の私。私生活の干支です。そして、四月からは社会人三年目です。「石の上にも三年」という言葉がありますが、石の上にも三年続けて座り続ければ暖まる——ということから、長い間努力を続ければいつか成功への兆しが見えるという意味だと聞きました。皆さんから信頼を得る作業療法士、そんな人間を目指して、このこぐま福祉会でこれからも頑張りますのでよろしくお願いします。

べあクラブスポーツ大会

11月1日（土）こぐま福祉会アリーナ棟にて、第5回べあクラブスポーツ大会を開催しました。14家族に参加いただき、利用者やご家族の笑顔や歓声が溢れる、元気一杯の大会となりました。

まずは、保護者の障害物競走で、お母様方の華麗な動きや可愛い仮装姿を披露して頂きました。次は、AKBの曲に乗って、車椅子ダンスを踊りました。昼食タイムには、美味しいお弁当を食べておしゃべりに花が咲きました。

午後からは、日頃の練習成果を発揮してのサーキットと親子ペアによる風船バトミントンの熱戦が繰り広げられました。

今年も、互いの頑張りにエールを送りあう温かい交流ができ、充実の1日となりました。

（サービス管理責任者 横尾）



芋掘りしたよ！！

お母さんと一緒に
見つけたよ♡

あっきな
おいも
見つけるぞー！
…ワクワク

大きなおいもあるかなあ♪

みてみて、やったー

取ったど〜！！

おいもの赤ちゃんだぁ

あっきいおいも
こんなに取れたよ♪



検査室がきれいになりました！

この度、こぐま福祉会の環境整備として、検査室及び聴力検査室、観察室の壁や天井の改修工事を行いました。

室内は見違える程明るくなり、快適に利用しています。また、検査室には防音の窓を設置し、以前よりも静かな環境で検査を行えるようになりました。

(医療支援部 白水)



施設見学がありました

十一月十三日(木)、山口県にある「子ども発達支援センター愛」より十六名の方がこぐま福祉会へ施設見学に来られました。山口市内にて就学前の児童発達支援事業と学童の放課後等デイサービス事業を実施されている施設であり、今回職員研修として、こぐま福祉会の事業内容や方針を学びたいとの事でした。まずは館内見学を行い、その後お互いの施設の現状と課題についてディスカッションを行いました。

地域や事業所によっても子ども達の受け入れ方や支援内容も様々ですが、それぞれの特徴や強みを活かして、子ども達やご家族にとって利用しやすい施設を目指していきたいと思っています。

(こぐま学園園長 木下)

職員研修

職員の「虐待防止研修」を行いました。

平成二十四年十月から「障害者虐待防止法」が施行されました。この法律は、障害者の虐待の予防と早期発見、及び養護者への支援を講じるための法律です。当福祉会では、虐待防止に向けた取り組みとして、虐待防止委員会を設置し、職員への教育・研修を実施しています。



今回の研修内容は、虐待防止法や虐待の種類・内容・具体例等の講義を聞き、虐待防止への意識を高めること、虐待防止チェックリストを記入し、自分の行動を各自見直す時間を設けることを目的に行いました。

保護者の皆さまに安心して利用できるこぐま福祉会であるためにも、今後も職員全員で虐待防止に努めていきます。(虐待防止委員 林)

研修会参加報告

十一月二十一日(金)・

二十二日(土)、『全国児童発達支援協議会 中四国・九州ブロック職員研修会』が広島市で開催されました。「子どものライフステージを見据えた地域における発達支援」というテーマのシンポジウムに、当福祉会の作業療法士の高橋沙織が参加し、保育所等訪問支援事業の現状と課題について発表を行いました。他施設との情報交換も行い、充実した二日間となりました。

(言語聴覚士 横山)

学会参加報告

十一月二十二日(土)・二十三日(日)、『第三十七回九州理学療法士・作業療法士合同学会』が佐賀市で開催されました。当福祉会からは、「地域の学校へ通う重症児の姿勢ケアについて」「発達分野における理学療法士の役割について考える」の二演題を発表してきました。発表に関しては、多くの方に意見や感想を頂き、共感を得ることができました。また、偉大なる理学療法士の先輩方の特別講演は新しい学びや刺激を受け、充実した学会となりました。今後も積極的に学会に参加し、研鑽に励んでいきたいと思

います。

(理学療法士 田中)

12月行事予定

- 11日(木)避難訓練
 - 14日(日)こぐまもちつき大会
 - 23日(火)尾久保研修所「みんなの館」もちつき・クリスマス会
 - 24日(水)こぐまクリスマス会
 - 27日(土)大掃除
- (愛らんど・work step・べあクラブは通常)

【交流保育】

- 2日(火)天使幼稚園
- 5日(金)真愛保育園
- 9日(火)味坂保育園
- 17日(水)三国保育所
- 19日(金)五条保育所

【年末年始休暇】

- 12月28日(日) ~ 1月5日(月)
- 1月6日 ~ 通常療育



職場復帰のお知らせ

出産・育児休暇を終え、理学療法士の伊藤かおりが十一月一日より復帰しました。

「みんなの館」からの案内

毎年恒例のもちつき及びクリスマス会を開催いたします。

日時・十二月二十三日(祝)

※参加費 五百円 (高校生以上)

午前 もちつき(九時開始)

午後 クリスマス会

日本古来の伝統行事を次世代につなぐとともに、地域の方との交流や広域の皆様「みんなの館」を知って頂くため、毎年開催しています。

たくさんのご参加をお待ちしております。

(「みんなの館」スタッフ一同)

